

れんごう鳥取



JTUC

2013年1月1日
No.1

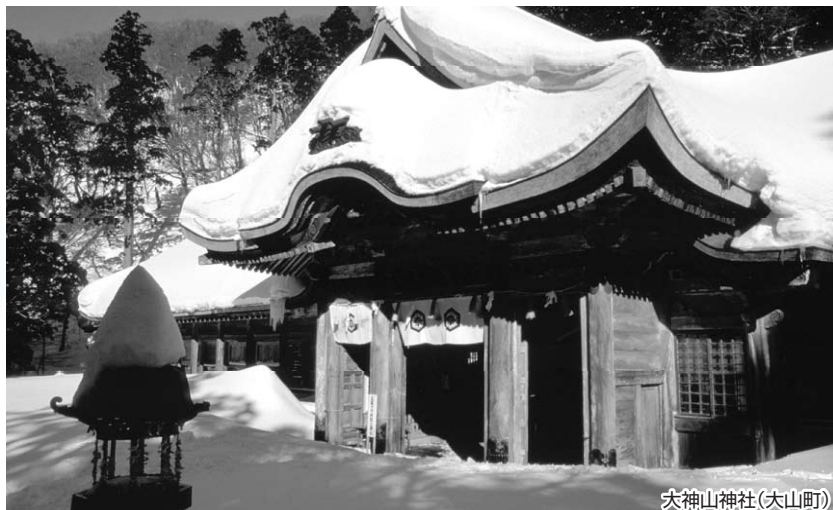
発行・日本労働組合総連合会鳥取県連合会
発行人・五十嵐美知義 編集人・佐貴 馨
〒680-0847 鳥取市天神町30-5
TEL (0857) 26-6605・FAX (0857) 26-6615
E-mail: tottori@mlaa.rengo-net.or.jp
ホームページ: <http://www.rengo-tottori.net>

年頭あいさつ

連合鳥取

会長 五十嵐 美知義

新年あけまして
おめでとう
ございます。



大神山神社(大山町)

組合員の皆様には、ご家族お揃いで、健やかな新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

また、日ごろより連合鳥取の運動に對しまして、あたたかいご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、日本経済は、復興需要を背景に緩やかに回復しつつあると言われていましたが、欧州の債務問題の長期化や中国・インドをはじめとする新興経済の減速や原油等の価格の上昇、円高進行等、相俟って予断を許さない状況が続きました。加えて、この鳥取県において、中小零細企業はもとより、大手企業においても大規模な企業再編や合理化等により離職者が発生し、地域経済・雇用環境に大きな影響を及ぼしました。

そうした中で、政府は東日本大震災からの復旧・復興に向けての取り組みや、「日本再生戦略」を打ち出し経済の低迷やデフレ進行に歯止めをかけ雇用の創出に向けて対応してまいりました。

一方、昨年の第46回衆議院総選挙では、民主党政権3年4ヶ月の実績が問われる選挙になりました。官僚

主導から政治主導の政治への転換や、政治、経済、社会の様々な仕組みを変えようと取り組んできました。そのもとで、「社会保障と税の一体改革」や、子育て支援の拡充、緩和し続けてきた労働法制に歯止めをかけ、労働者保護への法整備など等、生活者や働く環境の政策に道筋をつけてきました。

しかし、政権与党としての経験不足やガバナンスを欠いた党運営等により、国民の評価は、大変厳しいものとなり、民主党は大敗を期す結果となりました。この度の、国民の審判を真摯に受けとめ、反省するところは反省し、この敗北から早期脱却し、これまでの改革の道を閉ざさないためにも、今年の参議院選挙の勝利に向けて立ち上がらなければなりません。

連合は、努力すれば報われる社会、働くことに最も

2013年が皆さまにとって、素晴らしい年になることをお祈りし、新年のごあいさつと致します。

最後に、連合鳥取は働く者の拠り所として、さらなる連合運動の強化と、地域に顔の見える運動を進めてまいります。

※特定最低賃金(産業別)が改定されます。

《電気機械器具製造業》
現在 735円⇒

1/17~736円

《各種商品小売業》
現在 695円⇒

2/7~697円

第46回衆議院議員選挙

第46回衆議院選挙は12月4日公示、16日投開票で実施され、連合鳥取は鳥取県第2区に湯原俊二さんを推薦し、湯原さんを再び国会へ送り出すとともに、支援政党である民主党の政権維持をめざし取り組んできました。

結果は、連合が組織の総力をあげて支援した民主党が誠に残念ながら改選議席を大きく下回る結果となり、鳥取県第2区においても同様の結果となりました。

民主党への逆風にもめげず、また、報道各社による厳しい情勢分析の発表にもめげず、構成組織、地域協議会のみなさまには、最後まで諦めることなく取り組みを進めていただきました。

今次選挙の選挙戦において、連合推薦候補の当選に向け、さらには民主党の勝利に向け、昼夜を問わず献身的に取り組んでいただいたすべての構成組織と地域協議会、さらには単組・支部・分会の役員・組合員のみなさまに心からお礼を申し上げます。



○鳥取県第2区 選挙結果 (投票率 65.39%)

	候補者名	得票
	湯原 俊二 (推薦) 民主党	45,728
当選	赤沢 亮正 自民党	87,395
	福住 英幸 共産党	10,584

2013春季生活闘争 連合方針 (骨子)

2013春季生活闘争スローガン

すべての労働者の処遇改善を追求し「働くことを軸とする安心社会」を実現しよう
～賃上げ・労働条件の改善で、デフレからの早期脱却を～

2013 春季生活闘争の考え方と要求

- ①すべての労働組合は賃上げ・労働条件の改善のために1%を目安に配分を求める取り組みを進める。
- ②低下する賃金の復元・底上げと、賃上げによる消費拡大・内需拡大をはかり、デフレからの早期脱却をめざす。
- ③「格差是正」のため個別賃金を重視し、ミニマム水準のキープ・めざすべき水準の追求と開示を通じて個別賃金水準の社会的波及を高めていく。
- ④「2013春季生活闘争」と「政策・制度の実現」を運動の両輪と位置づけ、政策・制度要求に積極的に取り組む。

賃上げ要求

- ①賃金カーブ維持分を確保と低下した賃金水準の復元・格差是正をはかる。
- ②賃金制度が未整備な組合は、1歳・1年間差の社会的水準である5,000円 (時間給では30円)を目安に賃金水準の維持をはかる。

中小・地場の取り組み ※中小共闘の方針

- ①賃金カーブ維持分を算定可能な組合は、その維持原資を労使で確認する。
- ②算定困難な組合は、賃金カーブの維持相当分として4,500円を要求する。
- ③賃金水準の低下や賃金格差、賃金のひずみなどの状況に応じて、1%を目安に賃金引上げを要求する。

ワーク・ライフ・バランスの取り組み

- ※「中期短時方針(最低到達目標)」を踏まえた取り組みの継続
- ①年間所定労働が2000時間を上回る組合は2000時間以下とする。
 - ②年休の初年度付与日数を15日以上とし、取得日数の低い組合員の取得促進をはかる。
 - ③時間外労働等の割増率が法定割増率と同水準にとどまっている組合は上積みをはかる。

ミニマム運動課題 (すべての組合が取り組む課題)

- ①賃金制度の確立と整備
- ②賃金カーブ維持分の明示と確保
- ③非正規労働者を含めたすべての労働者を対象とした処遇改善
- ④企業内最低賃金協定の締結拡大と水準の引き上げ
- ⑤総実労働時間の縮減、時間外・休日労働の割増率の引き上げ

非正規労働者の労働条件改善

- ①非正規労働者の労働条件の均等・均衡待遇に向けた取り組みを展開する。
- ※非正規共闘の方針
- 「誰もが時給1,000円」、「賃金維持分+1%を目安とする時給の引き上げ」をめざす。

ワークルールの取り組み

- ①改正労働者派遣法、改正労働契約法、改正高齢者雇用安定法の遵守を徹底する。
- ②法令遵守はもとより、さらに職場の働き方の実態を直視した改善を求める。

2013 連合鳥取任務機構

—「第1回執行委員会(2012.12.18)」確認—

会 長 五十嵐 美知義

副 会 長 本川 博孝 小椋 昌美 奥田 剛

事務局 長 田中 穂

(◎局長 ○事務局)

副事務局長 吉田 正 岸本 和彦 山田 秀之 井上 準一

企画委員会 ◎小椋 本川 奥田 ○田中 弘中 西川 前田 佐貫 松崎 山根 名和 中島

総 務 局 ◎田中 ○吉田

組 織 局 ◎弘中 本川 小椋 奥田 田中 ○吉田 岸本 山田 井上 西川 前田 石田 中嶋 松崎 高見 山根 名和 中島

非正規労働センター (組織局と同じ)

中小労働局 ◎松崎 本川 小椋 田中 ○吉田 岸本 山田 井上 弘中 西川 石田 春木 大西 中嶋 高見 山根 名和 中島

中小共闘センター

国民運動局 ◎西川 本川 奥田 田中 ○吉田 岸本 山田 井上 佐貫 小山 井本 春木 大西 松崎 椿原 三浦 吉田晴

広報教育局 ◎佐貫 田中 ○吉田 岸本 山田 井上 井本 春木 中嶋 米村 高見 椿原 筒井

男女平等局 ◎前田 田中 ○吉田 小山 米村 高見 廣田 吉田晴 筒井

労働政策局 ◎奥田 本川 小椋 ○田中 吉田 岸本 山田 井上 弘中 前田 石田 井本 米村 廣田 吉田晴 山根 名和 中島

政治センター ◎本川 小椋 奥田 ○田中 吉田 岸本 山田 井上 弘中 西川 前田 佐貫 米村 椿原 廣田 山根 名和 中島

青年委員会 委員長/筒井 副委員長/長谷 岸本幹 大野 植田 事務局長/垣屋

女性委員会 委員長/吉田晴 副委員長/廣松 小谷 梶本 事務局長/太田

地域協議会 東部地協 議長代行/山根 事務局長/岸本 中部地協 議長/名和 事務局長/山田

西部地協 議長/中島 事務局長/井上

※各地協事務局長は連合鳥取副事務局長と兼任



本年も
どうぞよろしく
お願いします

連合運動への参画意識の向上を! —青年委員会「第22回定期総会」を開催—

12月2日(日)鳥取県労働会館において、「青年委員会第22回定期総会」を開催しました。

総会議長に瀧田哲也代議員(私鉄総連)を選出し、総会が進められました。

2012年度の活動報告・2013年度の活動方針等が提案された後、代議員からは「2012年度は参加者同士の交流に重点を置いた取り組みが多かったため、2013年度は労働運動に対する知識や連合運動への参画意識を高めるような学習会を開催して欲しい」との意見が出されるなど、熱心な論議が行われました。

そして、すべての議案が原案通り承認され、2013年度の運動をスタートしました。



男女平等参画社会は老若男女みなが暮らしやすい社会 —女性委員会「第17回定期総会」を開催—

2012年12月2日(日)、倉吉市の中部教育会館において、「連合鳥取女性委員会第17回定期総会」を開催しました。

定期総会では、2012年度の活動報告を行い、2013年度の活動方針を決定しました。また、新役員体制も確認され、女性の組合活動参画推進、男女平等と労働条件の改善をめざした活動に取り組んでいく決意を新たにしました。

定期総会後には、自治労中央本部の澤田陽子副執行委員長を講師に招き、研修会を開催しました。研修会では参加者を3つの班に分け、パズ・セッション(テーマに対して班内で自由に討議する)を行いました。それぞれの班で、女性の組合活動に関して様々な意見が飛び交い各職場の現状や問題点、具体的対策を話し合い、全体に向け発表し澤田副委員長の講評をいただきました。限られた時間の中で密度の濃い時間を過ごすことができ、参加者同士の交流や男女平等や組合活動への意識が深まりました。

(寄稿 女性委員会 事務局長 太田裕美さん)



安心・安全に暮らせる社会をめざして —東・中・西部地協定期総会を開催—

東部地協【第19回】

取東部地協協議会鳥取支部地域

2012年12月13日(木)
於:ホースターとっとり

※西川光治議長(UAセンセン)は組織事情により退任され、議長代行に山根豊治(JP労組/右)が選出されました。

中部地協【第18回】

連合鳥取中部地協第18回定期総会

2012年12月14日(金)
於:倉吉交流プラザ

西部地協【第18回】

2012年12月19日(水)
於:米子コンベンションセンター

Information

※詳しくは連合鳥取、各地協事務局へお問い合わせください。

連合鳥取 「第2回(拡大)執行委員会」	2013春季生活闘争 開始宣言集会	2月集中労働相談ダイヤル 「連合・非正規労働ホットライン」
□日時 2013年1月25日(金) 13時30分～ □場所 白兔会館 ※2013連合鳥取春闘方針を決定	□日時 2013年2月2日(土) 13時30分～16時30分 □場所 まなびタウンとうはく □内容 ①主催者あいさつ ②地域春闘の重要性について 講師/JAM本部 宮本礼一書記長 ③連合鳥取2013春闘方針 ④意見・討論 ⑤闘争開始宣言 ⑥団結がんばろう	□日時 2013年2月7日(木)、8日(金)、9日(土) いずれも 10時00分～19時00分 □場所 東部・中部・西部地協事務所 連合鳥取は「労働相談ダイヤル」を通念的(平日)に開設し、労働者のみなさまからの労働問題に関する様々な相談事をフリーダイヤルで受けつけています。 お気軽にお電話ください お電話:0120-154-052 いこうよれんどうに 相談無料・秘密厳守



“ザ・議員”

両川 洋々

鳥取市議会議員

「労働者のユーモア」

リストラで職場を追われ、合理化による労働過重に耐え、限界まで働く仲間たち。職場から笑顔と笑い声が消えて久しい。

こんなご時世だからこそ、世の中を笑い飛ばしてやろうと詠むのが川柳です。

私が主催する鳥取県川柳会も今年で31回目を迎え、昨年12月16日（日）、160人が参加して開催しました。この日、400句の入選句が披露、一句一句に拍手や大きな笑い声が沸き起こりました。

不況も円高もリストラも関係のない、働く者の別世界が出現してみんな酔います。

連合のみなさんも一度覗いてみてください。

川柳大会表彰式にて
(右/両川議員)



中田 利幸

米子市議会議員

初春のお慶びを申し上げます。

昨年は激動の年で、生活者重視の格差是正と持続可能な社会への流れが、再び不安と危険を強める事態となりました。

私の信条は「住む人が主役のまちづくり」で、将来を見据えた地域生活の安定と向上をめざして、都市機能、交通政策、経済と雇用、教育政策を中心に取り組んでいます。制度が定まらない状況ですが、生活者・勤労者の立場からの政策実現に向けて一層の努力をしていく所存です。



活動報告会の様子
(2012年夏)

おすすめ Book

新社会人向けの
ハンドブック

THE社会人

発行／(財)鳥取県労働者
福祉協議会



※社会人・労働者として知っておきたい基礎的・基本的な知識やルールをわかりやすく解説してあります。
ぜひ組合でもご活用ください。

【お問い合わせは】
連合鳥取または鳥取県労福協へ

産別・単組 活動紹介

◇日ノ丸観光トラベル労働組合◇

日ノ丸観光トラベル労働組合は、組合設立20数年で現在11名にて活動しております。

当労組は、営業・内勤職で成り立っており、組合員の生活向上と労働条件の維持・改善を目指しています。

日ノ丸観光トラベルは、国内及び海外の団体旅行・グループ旅行の取扱いから、全国の鉄道・航空券等の手配・販売まで、地元根付く企業として日々努力をしております。

鳥取県内を中心に地元愛される旅行会社として、全組合員で力を合わせて様々な取り組みをしていきます。



定期大会に集う組合員

（中・小）
活動を見直して
全員参加の組合
れを機に再度、こ
り組合員全体の問
組みである。こ
か関係ないよう
策制度要求等々
上げ・一時金・処
上・選挙のみで
ちろん・協力を
て、協議してもら
に、認してもら
であることを組
実現に向けた取
挙活動に参加す
多い。そして、
いる。考えさせ
分な活動がで
きなの。組合組
あるべき。我々
点は何か、今後
議席と惨敗に終
は議席を大きく
挙が行われた。第
昨年12月に第46
が。結果、民議選



てんじんこらも



再生紙を使用しています